徳島県　令和７年度赤ちゃん授業～赤ちゃんと小中高生等との交流事業

赤ちゃん授業通信

城西高等学校　2025年11月19日

命の授業

城西高校の生徒２年９名,３年８名と親子６組が参加し、
赤ちゃん授業を開催しました！
徳島県助産師会の田中章子先生より“ 命の授業” を聞いた後、
体験コーナーでは、妊婦の身体の変化や重さを体感したり、
赤ちゃん人形を使って抱っこの練習をしました。
実際に赤ちゃんと触れ合う交流では、命のぬくもりを肌で感じることができました。

生徒からの質問

- 赤ちゃんって不思議だなっと思ったことはありますか
- 子育てをしていてどんな時に幸せだなと思いますか
- 子育てをする時に心がけていることはありますか
- 妊娠中の生活はどのようなことが大変ですか
- 赤ちゃんがよく笑ってくれる遊びはなんですか
- どういう分担で子育てをしていますか
- 子育てで大変なことは何ですか
- どんなときにやりがいを感じますか

体験コーナー

妊婦ジャケットをつけたり、胎児模型や赤ちゃん人形を抱っこする体験をしました！

＼ 妊婦ジャケット／

＼ 胎児模型／

＼ 抱っこ体験／

ふれあい交流

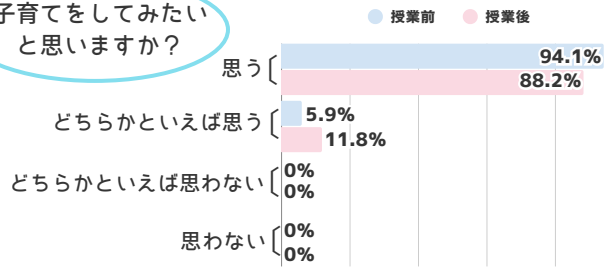
グループに分かれて、生後３ヶ月～７か月の赤ちゃんと触れ合ったり、抱っこをさせてもらいました。
また、妊娠中の貴重なエコー写真や、生まれた時や子育てのお話をお母さんから直接聞くことができました。

生徒からの感想

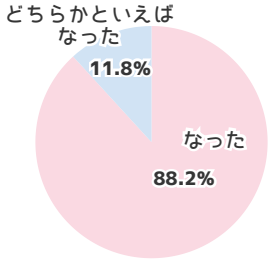
- お腹の中に最初いる時は、米粒よりも小さいということを聞いて驚きました。
- プロジェクターだけの説明だけでなく、赤ちゃん人形などの物を使って説明もあり、とても分かりやすかったです。また体験では、重りをつけて妊婦さんになりきる体験がとても印象に残っています。寝転がったり、起き上がったり、物を取ったりするのがとても大変で、私も出来ることがあれば、手助けできるようにしたいと思いました。
- 胎児の実際の大きさの再現ぬいぐるみを見てとてもすごいことなんだなと改めて思いました。
- お母さんお父さんの子育ての大変さに気づきました。
- お母さんのお話を聞いて夫婦で協力することが大切だと言っていたので、私ももし結婚をするなら、相手をよく見極めようと思いました。
- 将来保育士になりたいので、今回学んだことを活かしていきたいとおもいました。
- 目を合わせてニコッ^^ってしてくれるところがとっても可愛かった！眠たくて泣いていたところも愛おしくて可愛すぎた♡やっぱ赤ちゃん大好きです♡
- 可愛かった、お母さん達の話を聞いて赤ちゃんを産むのも育てるのも不安に思ったけど、それよりも楽しみになった‼
- ますます保育士になるのは、大変なことなのだと思い、これからも子どもについてもっと知っていきたいと思える貴重な体験をさせていただきました。
- みんな可愛くてふわふわしてた。
- 子どもの成長は、できるようになったら嬉しいけど寂しくなるって知った。

生徒アンケート（授業前と授業後にアンケートを実施しました）

Q 子育てをしてみたいと思いますか？

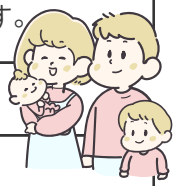


Q 赤ちゃん授業後、自分の結婚や子育てについて具体的に考えるきっかけとなりましたか？



パパママからの感想

- 高校生が興味津々に赤ちゃんを見ていて、また質問もしてくれて嬉しかった。最近は出産を望まない人も多いが、今回の授業を機に出産を望んでくれるといいなと思う。
- 家族以外が抱っこして寝たことがなかったのに高校生のお姉さんの腕の中で眠っている姿にはとてもびっくりしました。
- 手を洗ったり消毒してからの交流だったので配慮がなされてるなと思いました。また、学生さんと話をする中で新生児だったころも思い出すことができ、初心に戻れました。また育児がんばろうと思えました。
- にこっと子どもが笑うと生徒さんたちが喜んでくれたのが私にとっても嬉しかった。
- 保育所に通う予定なので、家族以外の色んな年齢の人と今から関わっていって、人見知りもしないようになったらいいなと思えたので、参加出来て良かったです。



運営スタッフより

- 将来保育関係の仕事を希望する生徒が多い中、抱っこ体験のあと実際に赤ちゃんを抱っこするときは手助けなく上手にできていて感心しました。お母さんと赤ちゃんとの触れあいの時間には、教室にみんなの笑顔が溢れました。
- 命の大切さを学ぶ講義では真剣なまなざしで助産師と向きあい、小さい受精卵が赤ちゃんに成長する不思議を実感できました。生徒の表情は明るく、このような機会がもっとたくさんあれば良いと感じました。